

仙台北地区NIE研修会 実践報告資料

気軽に，楽しく，続けよう

やってみよう！NIE

～新指導要領、言葉の力、
活用力．．．を視野に入れて～

仙台市立松陵小学校

阿 部 謙

1. はじめに → 資料1

平成元年、NIE推進委員会が発足して以来、20年経ちました。私も、平成元年4月、教員の仲間入りをし、発足以来同推進委員会にお世話になっています。

ここに、仙台北地区の先生方とともに、これからのNIEについて考える機会をいただき、とてもうれしく思っております。稚拙な実践ではありますが、よろしくお願いいたします。

2. なぜ、NIEか？

子どもの視野が広がります。

新聞は、情報の宝庫 → 情報に関する力が育ちます。

(情報収集力、情報活用力、情報選択力、情報判断力
情報批判力、情報発信力、情報モラル...)

新聞は、「生き方」の宝庫 → 「生きる力」を育みます。

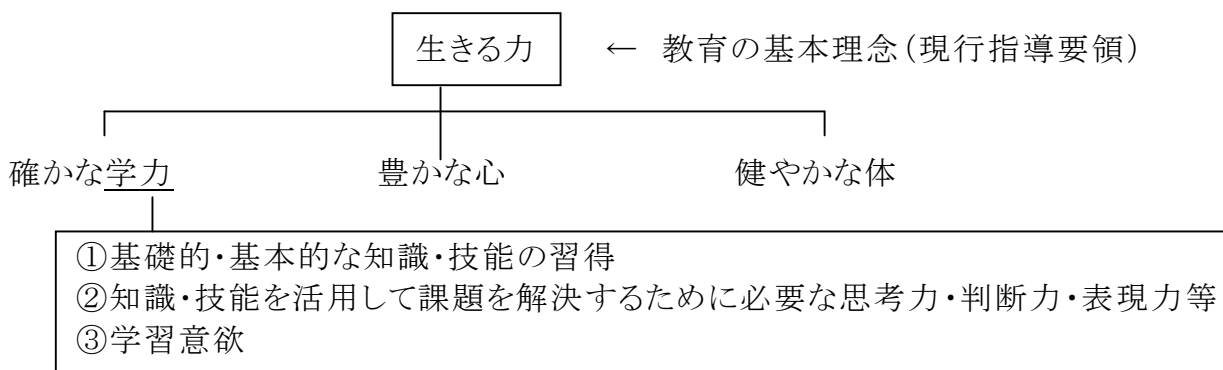
学力(特に読解力)が高まります。 → 資料2

言語能力が高まります。

3. いくつかのキーワード

教育基本法改正 → 学校教育法改正 → 学習指導要領改定

(1) 中教審答申からNIEへ



(2) 改訂学習指導要領案より(下線は、新しく入った文言)

・総則 「生きる力」

「基礎的・基本的な知識・技能」を活用して、課題解決のため
「思考力・判断力・表現力」を育てる。

主体的学習

言語活動の充実

家庭との連携 → 学習習慣の確立

* 残念なのは、配慮事項2(9)

「各教科の指導に当たっては、児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピューターで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を・・・」

・国語

3・4年生 B書くこと (2)言語活動

イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。

5・6年生 C読むこと

(1)指導事項

イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

ウ 目的に応じて、文章の内容を適確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。

カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

(2)言語活動

ウ 編集の仕方や書き方に注意して新聞を読むこと。

・社会

5年生 2 内容 (4)

ア 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり

・道徳

第3 指導計画の作成と内容の取扱い 3 配慮事項

(3) 先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、児童が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して、児童の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと。

・総合的な学習

第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 配慮事項

(8) 情報に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動が行われるようにすること。

・特別活動

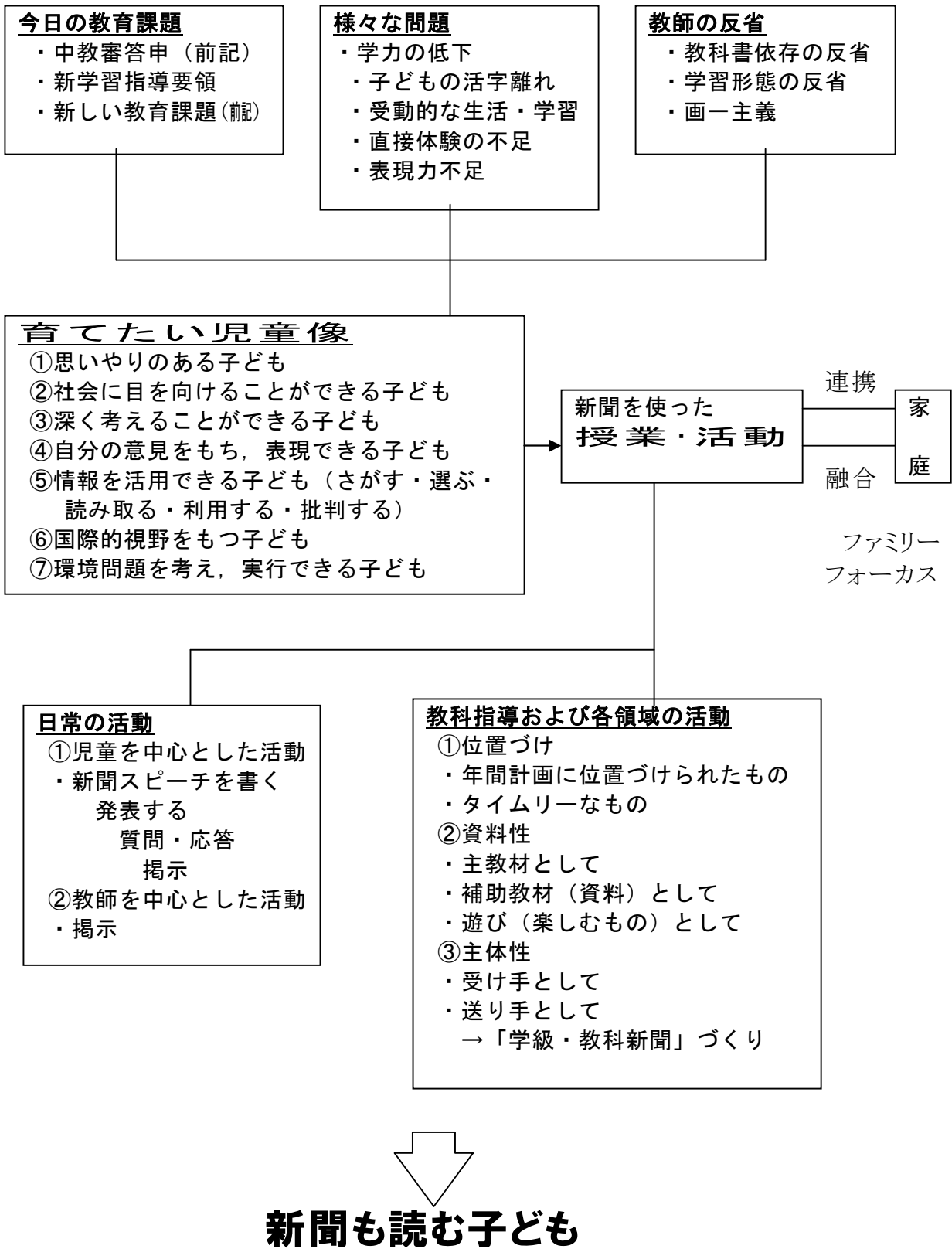
第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 配慮事項

(4) [学校行事]については、・・・体験活動を通して気づいたことなどを振り返り、まとめたり、発表しあったりするなどの活動を充実するように工夫すること。

(3) これからの教育課題

- ・ 学力向上
- ・ PISA型読解力、活用力、言葉の力...
- ・ 自分づくり教育

4. NIEへの取り組みの流れ

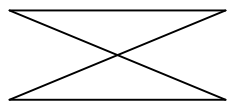


5. 新聞の使い方

①新聞で学ぶ

A 教師から

・主教材として



年間計画に位置づけられたものとして

・補助教材として

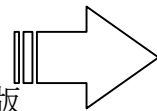
タイムリーなものとして

B 児童が

調べ学習の手段として

スクラップ帳

縮刷版



能動的学習へ変えた

データベースの利用 →資料3

②新聞を学ぶ

・狭義(例:5年社会科「(4)ア」)

・広義(紙面センサー)

③新聞に親しむ

・切り抜き

・スピーチ

・ゲーム

(・下敷き)

④新聞を作る

●作成主体から

・個人新聞 ・グループ新聞 ・学級新聞 ・学校新聞...

●内容から

・教科新聞 ・生活(日常)新聞 ・行事新聞...

●素材から

・印刷新聞 ・壁新聞 ・カラー新聞 ・コンピューターによる新聞

6. 実践例

[1]各教科・領域での活動

① 年間指導計画への位置づけ → 資料4

国語 新聞の切り抜き(5年生)、引用作文

社会 新聞でテレビを学ぶ(5年生)、中小工場の活躍(5年生)

理科 天気、天気図、月、潮汐表、地震

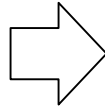
総合 「ワールドカップ探検」、「地球温暖化」、「自分史づくり」→資料3

② タイムリーな利用 → 資料5

1) 新聞に親しむ利用《新聞で遊ぼう》

国語:4コマまんがの活用
文字さがし
見出し作り(要約力・表現力の育成)
社会:なるほどザ日本(5年生)
理科:地震
合科:クイズ作り

- 2) 新聞で考える活動
・写真→感想(低学年)
・記事→感想・意見(高学年)



活用力につながる活動

[2]日常の活動

- ・読み聞かせ
- ・朝のスピーチ(高学年)
- ・新聞の定期購読(子ども新聞, 小学生新聞, 一般紙...)
- ・家庭学習(自学における「新聞の切り抜きなど」)
- ・掲示(環境づくり)

[3]送り手としての活動

- 1新聞作り
- 2紙面への参加
- ・投書(一般紙:高学年)
- ・ぬり絵の応募(子ども新聞:低学年)

7. 留意点

1教材化 ← 教師の力量

- 「なぜ」「どこで(単元)」「どのように」新聞を使うのか。
- どうすれば効果が上がるのか
 - ・学習効果
 - ・新聞を読む子

2日常化

- 読めない字・わからないことば
 - ↓
 - ・調べる
 - ・だれかに聞く
 - (家族・友人・その他・教師)
 - ↓
 - ファミリー ここを
 - フォーカス めざしたい

3メディア・ミックス

他メディアとの共存・共栄

8. 平成20年度の実践(6年生):主なもの

[1]各教科・領域での活動

① 年間指導計画に位置づけられたもの

- ・ 国語「起承転結作文」(4コママンガを使って) → **資料6**
- ・ 家庭科「消費者教育」
「若者のカード破産の記事」…河北データベースより, 検索。
- ・ 社会「歴史の記事」
- ・ 総合的な学習「食について」(↓③2))

② タイムリーなもの

- ・ 歴史の記事[社会]
- ・ ナスカの地上絵

③ 今日的な課題

1) 活用力を育てる。 → **資料7**

- ・ 「食」について[総合的な学習]
投書を読み、共感した記事を1つ選び、自分の意見を書く。

2) 言語能力を育てる。 → **資料8**

[2]日常の活動

①新聞の切り抜き(朝の学習、毎週金曜日) → **資料9**

朝のスピーチ(毎日輪番で) → 感想交流

②朝の会での読み聞かせ

→コピーの要求が出るくらい, 真剣に聞いている。

③自学帳での取り組み

→コピー掲示によるみんなへの紹介。

[3]送り手としての活動

① 新聞作り

- ・ 係による:学級新聞
- ・ 個人による:教科新聞(歴史の調べ学習, 校外学習, 理科のまとめ新聞...)
- ・ 行事新聞(修学旅行新聞, 学芸会新聞...)

② 紙面への参加

- ・ クルマ教室の取材 → **資料10**

[4]メディア・ミックスの活動

① パソコンを使って, 新聞を学ぼう。

② データベースの活用 → **資料3**

9. まとめと今後の課題

改訂学習指導要領迫れるような研究は、まだまだ、これからであるが、一つ一つの積み重ねによって、追求していきたい。

課題

●映像メディア・コンピューターとの共存

情報教育＝コンピューターの教育と考えられていることもあり、それぞれの特徴や、長所を生かしながら、関連させていかなければならない。

●家庭との連携

小学生、特に低学年の子が新聞を読む(見る)ためには、家庭の協力が不可欠である。学級だよりや懇談などで呼びかけているが、新聞社と協力しながら、家庭における新聞の読み方の啓発も必要である。

●新学習指導案の理解

NIEがいかに関わられるかをもっともっと明らかにしなければならない。

●情報発信のあり方と啓蒙活動

実践者を増やしていくことが急務である。

ウェブページの利用 → **資料 1 1**